

▲▽海の道③▲▽ 海の国道として紀伊水道を横断し本州と四国を結ぶ
南海フェリー株式会社の「フェリーあい」

フェリーあい・名前の由来

英語の I(私)、恋人との愛、 徳島の藍染

紀伊水道を横断し、和歌山港と徳島港を結ぶ 「フェリー あい」へ込められた思い

南海フェリー株式会社の「フェリーあい」は2018年12月19日に起工し、2019年7月9日に進水式を行い、12月3日に岡山県倉敷市のサノヤス造船株式会社・水島製造所で竣工・引き渡しとなり、起工より完成まで約1年をかけた。

新造船「フェリーあい」の船名の由来は「英語のI=私」と「愛」そして「藍」の3つの「あい」をキーワードにネーミングしたもので、3つのそれぞれの思いが込められている。

- ▽I(私) 海を渡る旅の主人公が私
- ▽愛 愛する家族・友人・恋人に出会うための楽しい船旅
- ▽藍 徳島名産の藍染めの色をコンセプトカラーにした船

快適な船旅を楽しめるよう設備を充実

「フェリーあい」は、和歌山港～徳島港間を往復する旅客船兼自動車航送船として建造され、2機2軸推進方式、双胴型船尾船型による省エネ化を実現している。旅客定員は427人(臨時定員は546人)で、8.5mトラックを37台、搭載できる。

また、快適な船旅を楽しめるよう、航海船橋甲板上煙突内に減揺装置を装備(タンク内の流体の移動により船の横揺れを軽減)することで、より安全で快適な乗り心地を実現し、効率的な荷役を考慮した船首・船尾のランプウェイ、そして航海中は、紀伊水道を一望できる展望デッキもある。また、客室にはグリーン室や、ビジネススペース、じゅうたん席、赤ちゃんるーむ(授乳室など多彩な客室を配置しており、エレベーターやバリアフリー設備も充実している。

▲▽▲▽船舶要目▲▽▲▽

▽総トン数=2825トン ▽全長=108.1m ▽航海速力=約18.4ノット